

第2次

香芝市生涯学習推進基本計画

学び・ふれあい、育ちあい、ともに地域で活かすまちづくり



第2次香芝市生涯学習推進基本計画を策定しました

香芝市では平成13年に策定した「香芝市生涯学習推進基本計画」の期間が終了した後、時代の変化に対応した新たな生涯学習計画として、平成27年3月に「第2次生涯学習推進基本計画」を策定しました。

第2次基本計画の計画期間は、平成27年度（2015年度）から平成33年度（2021年度）までの7年間とします。

計画の基本理念

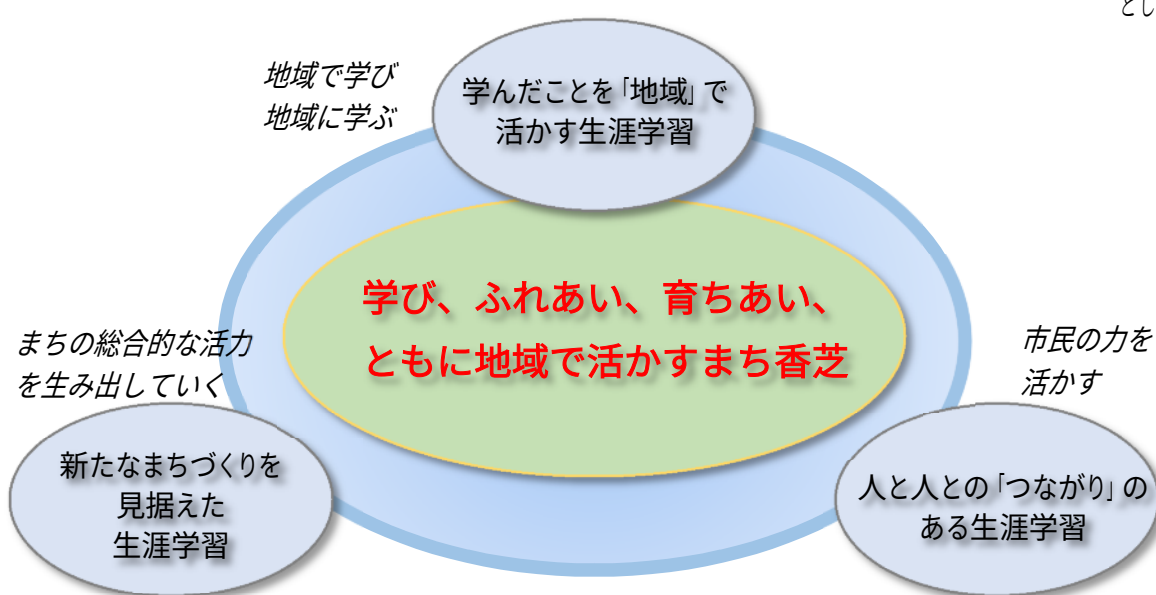
まちの総合的な活力を生み出していく「新たなまちづくりを見据えた生涯学習」、市民の力を活かす「人と人との『つながり』のある生涯学習」、地域で学び地域で学ぶ「学んだことを『地域』で活かす生涯学習」の実現に向けて、次のような生涯学習をめざします。

一人ひとりが自立して、健康で充実した人生が送れるよう、生涯にわたり学びを支援します。また学んだ成果を活かしあい、地域への還元・社会貢献や新たな挑戦ができるよう、学びの循環を図ります。学んだことを地域で活かす地域型生涯学習を基盤としたまちづくりを進めます。

香芝市としてめざすべき生涯学習都市像をあらわす本計画の基本理念は、

学び、ふれあい、育ちあい、ともに地域で活かすまち香芝

とします。



計画がめざす生涯学習の姿

◆ 新たなまちづくりを見据えた生涯学習計画

人口増加という特長を持つ香芝市であり、多くの市民が愛着を持って香芝の地に住むことができるよう「地域で学ぶ、地域に学ぶ」という学習を基盤としたまちづくりをめざしていきます。

◆ 人と人の「つながり」のある生涯学習計画

人と人とのつながりが希薄化しつつあるなかで、生涯学習を通して市民参画・協働による実践をめざしていきます。

◆ 学んだことを「地域」で活かす生涯学習計画

生涯学習は自らの能力・技能や生活の向上だけをめざすのではなく、それを基盤として地域社会に参加することで、よりよい人間関係をつくり、さらに地域コミュニティの活性化をめざしていきます。

生涯学習ってどんなこと？

いままで学校で学んだことだけが学習ではありません。学校教育、家庭教育、社会教育や文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において自発的に行うあらゆる学習が「生涯学習」です。

なぜ生涯学習が必要なの？

- 市民の健康づくりと生きがいのため
- 新たな知識・技術の取得していくため
- 子どもたちが健やかに育ち、のびのび成長していくため
- 活力のある地域づくりを進めるため . . .



生涯学習の推進に向けてどのように取り組むの？

この計画では、生涯学習の推進に向けて市民と行政が協働して取り組みを進めていくうえで、次のような基本的な考え方を示しています。

市民の役割

一人ひとりが生涯学習を通して自らの能力・技能や生活の向上などをめざします。

そして、学習した成果を活かして地域社会に還元していくように努めていきます。

行政の役割

市民が学びその成果を活かすことができる生涯学習の環境づくりをめざします。そのため市民の生涯学習の支援につながる様々な施策を推進します。さらに市役所の各行政分野が連携し推進するための体制づくりに取り組みます。

市民と行政が協働して

市民参画・協働による生涯学習のまちづくりを進め、市民の力を様々な形で活かしていくことが、香芝市全体としての新たなまちのコミュニティの形成につながっていきます。

学ぼう!!



計画の5つの基本目標

市民と行政が協働して、計画の実現に向けて次の5つの基本目標を掲げて取り組んでいきます。

だれもが
学べる
環境づくり

1 ライフステージに対応する学習機会の提供と成果を活かす環境づくり

- 乳幼児期から高齢期までそれぞれの成長段階での学習ニーズに対応する学習機会を提供し、すべての人が気軽に学習に取り組むことができる環境づくりをめざします。
- それぞれの学習した成果を活かすことができる学びの環境づくりをめざします。

〈目標実現に向けた取組みの柱〉

- (1) 学習機会の充実強化
- (2) 芸術・歴史文化イベント等の振興
- (3) 学校教育の充実
- (4) 生涯スポーツの推進
- (5) 学習成果の評価制度の推進



(総合型地域スポーツクラブ「レッツかしば!」：カローリングの練習)

子どもと
育ちあう
環境づくり

2 子どもと大人が育ちあう、子育てしやすい環境づくり

- 核家族化や少子化による家庭のあり方の変化に対応し、家庭の教育力の向上が求められることから、学びを通じて子ども同士や親同士、地域の子どもと大人が交流することで、ともに育ちあう、子育てしやすい環境づくりをめざします。

〈目標実現に向けた取組みの柱〉

- (1) 家庭の教育力の向上
- (2) 子育て相談活動の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携強化



(親子料理教室：親子で一緒に調理実習)

学びを
広める
環境づくり

3 学びの情報をだれもが得られる 環境づくり

- 市民が学びその成果を活かすために必要な情報を必要な時に得られる環境づくりをめざします。
- 生涯学習関連情報に市民が気軽に接することができるような相談体制づくりをめざします。

〈目標実現に向けた取組みの柱〉

- (1) 情報収集・発信システムの構築
- (2) 生涯学習の相談窓口の体制づくり
- (3) 生涯学習に関わる普及啓発と意識の高揚

(社会教育学級生大会：様々な学習活動の成果を発表する場)



みんなで
学びあう
地域づくり

4 地域みんなで学びあう生涯学習の まちづくり

- 地域の人々が相互に学びあい育てあう「協育」による生涯学習の取組みを進めます。
- 地域での学びを通じて、子育て、福祉、介護、安全などの地域の課題を地域で解決できる生涯学習のまちづくりをめざします。

〈目標実現に向けた取組みの柱〉

- (1) 協育による地域活動の活性化
- (2) 地域コミュニティの充実
- (3) 人材養成と活動支援の仕組みづくり
- (4) NPO、民間団体等との協働による生涯学習の充実
- (5) 学校と地域の学びあう場づくり

(社会福祉協議会：ボランティアフェスティバルでは市内で活動している様々なボランティアグループが活動を紹介します)



5 市民と行政が進める生涯学習の 体制づくり

- 行政各分野において生涯学習を総合行政として推進していくために、庁内に生涯学習推進本部の体制を整えます。
- 生涯学習の推進母体となっている社会教育関係団体、NPO、企業等への支援を強化するなど、市民の自主的・主体的な活動を進める体制づくりをめざします。

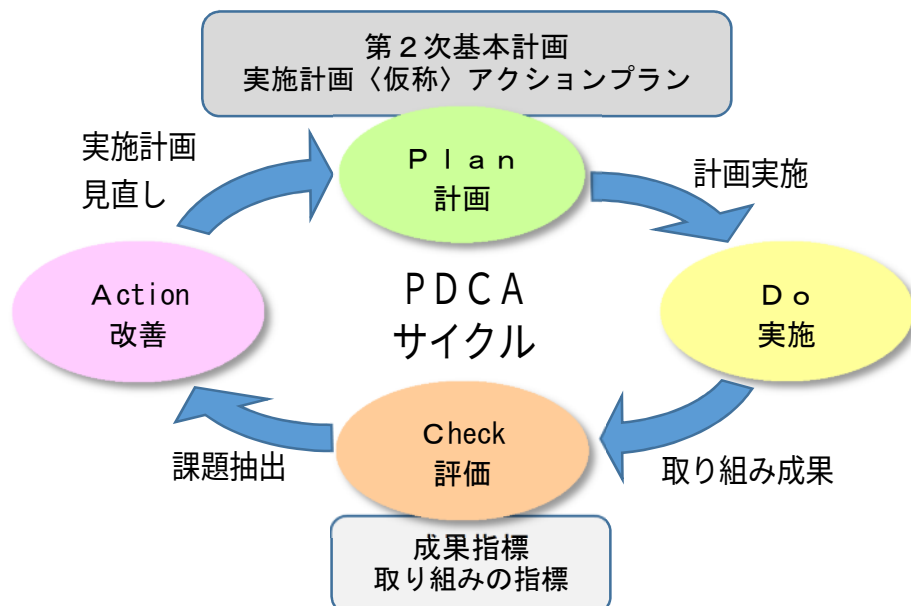
〈目標実現に向けた取組みの柱〉

- (1) 生涯学習推進本部の充実
- (2) 生涯学習推進担当の体制整備
- (3) 生涯学習推進のための市民組織づくりと市民活動の支援



計画の進めかた

基本計画の実施計画《仮称》アクションプランを策定し、取り組みの指標等を目標として設定します。「計画 (Plan)」、「実行 (Do)」、「評価 (Check)」、「改善 (Action)」のPDCAサイクルにより基本計画の推進を図ります。



重要性が高い3つの課題について**重点施策**として取り組みます

基本目標に掲げる施策の中で重要性の高い次の3つの課題への取り組みについて重点施策として位置づけます。

① 子どもと大人が育ちあう地域づくりの課題への取り組み

地域で学び、地域に学ぶ生涯学習の充実 〈子どもと大人がともに育ちあう場の充実〉

〈重点的な取り組み内容〉

地域の人びとと、勉強やスポーツ、文化活動などを行う「放課後子どもプラン」を促進していきます。



(学校・地域パートナーシップ事業：学校と地域の皆さんが取り組む「絵本の広場」の読み聞かせ活動)

② 家庭教育の課題への取り組み

家庭の教育力の充実 〈「親の学び」の場の充実〉

〈重点的な取り組み内容〉

子育てを終えた中高年世代や子育てサークル活動のなかで活躍している方と子育てネットワークを構築し、子育て中の親への支援に努めていきます。



(「きゅうぴいクラブ」は子育て中の親子の交流・情報交換の場です)

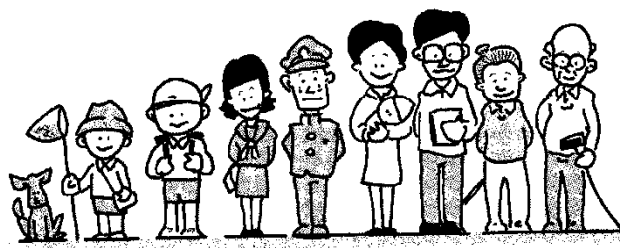
③ 高齢社会に対応した課題への取り組み

高齢社会（幸齢社会）への対応 〈生涯学習の充実〉

〈重点的な取り組み内容〉

豊かな知識と経験を地域の子どもたちと交流できる機会や場を提供できるよう努めていきます。

みんなの生涯学習



生涯学習に関する市民や事業所の意識（アンケート調査結果から）

生涯学習推進基本計画の策定に伴い実施したアンケート調査の結果から、次のようなことがわかりました。

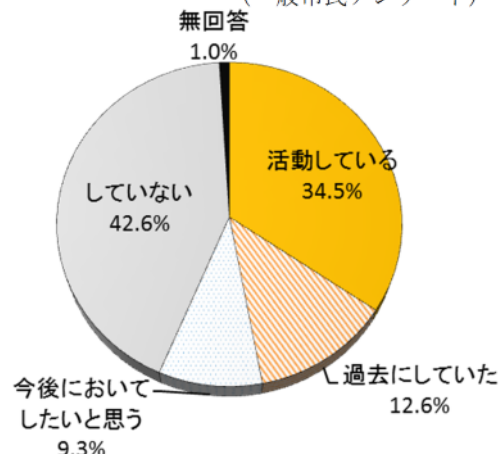
【「第2次香芝市生涯学習推進基本計画」策定に向けた市民意識調査の概要】

- ・調査年月：平成26年8月
 - ・調査対象：
 - ①一般市民アンケート調査（16歳以上市民、1,400人を無作為抽出、612人回答）
 - ②生涯学習団体アンケート調査（市内公共施設等で活動されている生涯学習団体活動者500人、355人回答）
 - ③事業所アンケート調査（市内に本社がある従業員10名以上の事業所100箇所、55箇所回答）
- ※ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

- ✎ 健康や老後のことに不安を感じている人が多い。
- ✎ 生涯学習に関する活動をしている・したいと思う人が5割弱を占める。
- ✎ スポーツ・レクリエーション活動をしていない人が4割以上である。
- ✎ 生涯学習は、人生をより豊かにし健康の維持・増進に役立っていると感じている人が多い。
- ✎ 生涯学習の成果を、自身の資質の向上のほか地域づくりや社会福祉活動に役立てたいと考えている人が多い。
- ✎ 地域活動に参加しにくいと感じていて、地域の情報に接する機会が少ないことが課題。
地域の課題は、「まちの安全や住みやすさ」が多い。
- ✎ 企業の社会貢献活動への取り組み意向は高い。
- ✎ 市の取り組みのうち、「中核的な公共施設や体育施設の整備・充実」と「生涯学習に対する情報提供」の重要度が高い。
- ✎ 今後市が力を入れるべきと考えられているのは「気軽に参加できるような講座や教室」、「市民ニーズや満足度の把握と反映」、「生涯学習に関する情報を得やすくすること」。

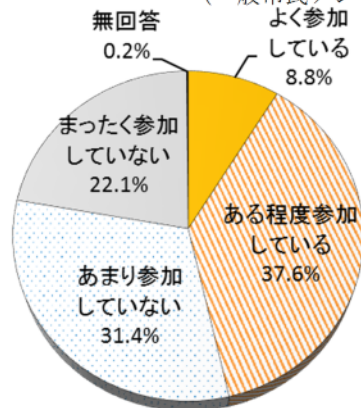
■生涯学習に関する活動状況

（一般市民アンケート）



■地域活動等への参加状況

（一般市民アンケート）



第2次 香芝市生涯学習推進基本計画

学び、ふれあい、育ちあい、ともに地域で活かすまち香芝

平成27年3月

発行 奈良県香芝市
編集 香芝市教育委員会事務局教育部生涯学習課
〒639-0292 奈良県香芝市本町1397番地

